



社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>

大洲市社協 検索 

新型コロナウイルス感染症対策の「新しい生活様式」を実践して・・・

活動を再開したサロンの様子をご紹介します!

新しい生活様式とは・・・

- ① 身体的距離の確保
できれば2m（最低1m）あける
3密（密集、密接、密閉）を回避する
マスクの着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒の励行
- ③ こまめな体温測定、健康チェック
風邪症状や発熱の場合は参加しない
こまめな換気の徹底
- ④ こまめな換気の徹底
- ⑤ こまめな換気の徹底



6月8日 隣保館すみれサロン（喜多地区）が再開
間隔は十分距離を取って、手指消毒も徹底!



サロン小鳥会（平地区）



5月末から、塗り絵や間違い探しなどの脳トレ、お弁当配りなど、サロン会員さんの見守り活動をしています。

サロン活動の再開が難しい場合

電話・メール等での会話や見守り活動を行う等、できる範囲で地域活動の推進・再開を進めていただければ、サロン活動として助成の対象とします。

「ご不明な点がありましたら、社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせ下さい。」

☎ 0313

令和元年度の

事業報告と収支決算を

ご報告します

☆相談活動

■心配ごと相談所の運営

総合福祉センター及び各支所に設置した相談所において、一般相談や法律相談、介護相談、電話による相談など、福祉ニーズの的確な把握に努めました。

(詳しくは6面に掲載)

- ・相談件数 171件
- ・相談者数 197名



■在宅介護支援センターの運営

担当地区民生児童委員、在宅福祉推進員等と連携を図りながら、在宅介護に関する総合相談や各機関とのサービスマニピ調整等、在宅での介護の支援に努めました。また、地域に密着した支援センターを目指し、サロン活動や地区行事に積極的に参加し介護教室等を実施しました。

- ・相談件数 78件

☆介護保険事業

■ケアマネージメント事業の実施

利用者の自己決定権の尊重、自立を目指した介護計画及び介護予防計

画(ケアプラン)の作成に努め、サービス事業者の意思統一を図りました。又、サービス満足度調査を行い、利用者・家族の要望等を把握し、改善に努めました。

- ・月平均利用人数 385名

■ホームヘルプ事業の実施

ホームヘルパーを派遣し、食事、入浴、排泄等の身体介護や炊事、掃除等の生活援助を実施し、サービスの質の向上に努めました。

- ・月平均利用回数 2,353回

■訪問入浴介護事業の実施

入浴設備付き車で要介護・要支援者宅を訪問し、身体の清潔の保持や心身機能の維持等を図るため入浴の介助を実施しました。

- ・月平均利用回数 35回

■デイサービスセンター事業の実施

デイサービスセンターで、入浴・食事・排泄等の各種サービスを提供し、レクリエーションや機能訓練を行い、在宅生活の維持向上に努めました。

- ・月平均利用回数 1,523回

☆障害者福祉サービス事業

■障害者ホームヘルプ事業の実施

障がいのある方に対して、入浴・

食事・排泄の介助や、調理・掃除・洗濯等の家事、外出時における移動中の介助並びに生活等に関する助言、その他生活全般にわたる支援を行いました。

- ・月平均利用回数 265回

■同行援護事業の実施

視覚障がいのある方に、移動に必要な情報の提供(代筆・代読含む)、移動の援護等の外出支援を行いました。

- ・月平均利用回数 40回

■地域活動支援センター運営事業の実施

在宅障がい者に対し、機能訓練・入浴・食事・排泄等の介助、また社会活動参加や交流の促進につながる支援に努めました。

- ・月平均利用回数 111回

☆地域支援事業

■大洲市地域支え合いセンターの運営

平成30年7月豪雨災害によって被災された方々の孤立防止のための見守り、日常生活上の相談、個別支援等を行うとともに、仮設住宅やみなし仮設住宅、またその周辺地域の住民が一体となった新たな地域コミュニティづくりのサポートを行いました。被災者の支援を総合的に行いました。



地域支え合いセンターの職員



地域支え合いセンターによる訪問活動

■外出支援サービス事業の実施

外出支援員が利用者宅と医療施設との間を送迎し、高齢者・障がい者等の在宅生活を支援しました。

- ・利用者数 88名

■軽度生活援助事業の実施

日常生活の中で、高齢者及び障がい者に対して、介護保険のサービスで対応できない支援を行いました。

- ・利用者数 1名

■福祉機器の貸出等

介護に係る経費の負担軽減を図り、自立支援のため福祉機器の貸出しを行いました。

- ・ギヤツチベット・車いす等

■独居高齢者緊急通報装置の管理

概ね65歳以上の独居高齢者及び高齢者のみの世帯を対象とした緊急通報装置の管理、緊急時の初期対応にあたりました。

- ・安否確認(月1回) 1,865件
- ・緊急時の初期対応 11件

■生活福祉資金の活用促進

低所得者、障がい者、高齢者世帯に対し低利で利用目的にあった資金を貸し付けるとともに、必要な支援を行い、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進に努めました。

- ・貸付件数 28件

☆住民の主體的な福祉活動

■地区別福祉懇談会の開催

- ・福祉懇談会開催数 19カ所

■大洲市地域福祉サービスマスター事業の推進

地域の福祉問題を、住民相互とともに支え合いながら解決することを目的とする事業で、支援を必要とする方に対して協力会員が支援を行い、誰もが安心・安全に暮らせる町づくりに目指し実施しました。

・活動内容

- ・生活支援活動 ごみ出し・草刈り
 - ・買い物等の支援
 - ・地域活動の支援 地区社協事業やサロン活動の支援
 - ・会員数 694名
- (令和2年3月31日現在)

■小地域在宅福祉活動事業の実施

地区社協が実施主体となつて地域ふれあい事業・独居高齢者のつどい・独居高齢者料理教室等を開催し、高齢者等の支援活動を行いました。

■ふれあい・いきいきサロン事業の活動支援

ボランティアがお世話人となり、身近な集会所等を利用して高齢者等の交流の場を設け、孤独感の解消や生きがいづくりを目的に、支援を行いました。

- ・サロン数 118カ所
- ・お世話人何でも相談会実施



いきいきサロン活動の様子

■日常生活自立支援事業(福祉サービスマスター)の推進と啓発

判断能力に不安のある高齢者や知的・精神障がい者に対し、介護保険等の利用援助や日常的な金銭管理等、福祉サービスマスターを適切に利用するための支援と啓発を行いました。

- ・契約件数 5件

■生活困窮者自立相談支援事業の推進

生活全般において様々な事情により困っている方の相談を受け、自立に向けた支援に努めました。

- ・新規相談 62件
- ・緊急一時生活支援事業 25件



皆様からお寄せいただいた支援品の数々。(フードドライブ)

■生活支援体制整備事業の推進

日常生活の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による生活支援サービスの提供体制を構築するため

に、生活支援コーディネーターを配置し、その体制の充実・強化を図るよう、諸会議や説明会を開催し、周知・検討を行いました。

☆ボランティア活動推進事業

■ボランティアコーディネーターの活動促進

- ・各ボランティア講座の企画・実施
- ・ボランティア活動の啓発
- ・ボランティア活動の支援・調整
- ・大洲市ボランティア相談窓口開設

■ボランティア活動・マンパワーの育成支援

- ・手話・音声訳・点訳等講座の実施
 - ・点字広報・声の広報発行事業
 - ・大洲市広報・社協会報誌等の点訳及び音声訳テープ・CD作成
- 【協力】

音声訳ボランティアサークル「こころ」
点訳ボランティアサークル「ひとみ」



手話奉仕員養成講座の様子

- ・大洲市ボランティア連絡協議会活動支援
- ・その他各種ボランティアイベント等への協力

■大洲市地域福祉(ボランティア)研修会の実施

地域共生社会実現に向けて、「我がごと、丸ごとの地域づくり推進」を考
える機会として、講師をお招きし、講
演会及び意見交換会を実施しました。



元年度ボランティア研修会にて

■ボランティア保険の加入促進

- ・令和2年3月末加入
個人保険 1,124名

☆福祉教育・啓発事業

- 調査、広報活動の実施

- ・会報「社協だより」発行
- ・ホームページ・フェイスブック・ツイッターによる情報提供

■ワークキャンプの実施

夏季休暇中に市内の福祉施設等の
協力を得て、中高生を対象に3日間
のボランティア体験学習を実施し、
福祉活動に対する理解を深めました。

- 協力施設 3施設
- 参加校 中学校 1校1名
高等学校 2校4名

■福祉体験教室のコーディネート

- 学校・団体数 16校
- 回数 33回



平小学校での盲導犬教室の様子

☆強化・育成事業

- まごころ銀行運動の推進

まごころ銀行は、地域住民の善意
の預託を受けて、社会に還元して地
域福祉事業等に役立てることを目的
とした制度であり、その啓発推進に
努めました。

・金銭預託 (一般預託)

19件 784,960円

(指定預託)

79件 2,697,528円

- ・物品預託 7件

■共同募金活動の推進

◇実施期間 10月1日～12月31日

◇実績額 12,117,538円



園児さんたちによる街頭募金

☆その他

- 総合福祉センターの管理運営
・利用件数 3,961件

令和元年度
福祉車両整備状況報告

日本財団より助成していた
だけ購入しました。



デイサービスの利用者様の送迎等に大活躍
しています。



共同募金会の災害ボラン
ティア・NPO活動サポー
ト募金助成事業を活用して
購入しました。

災害時や被災者支援・復興支援の活動等に
活用させていただきます。

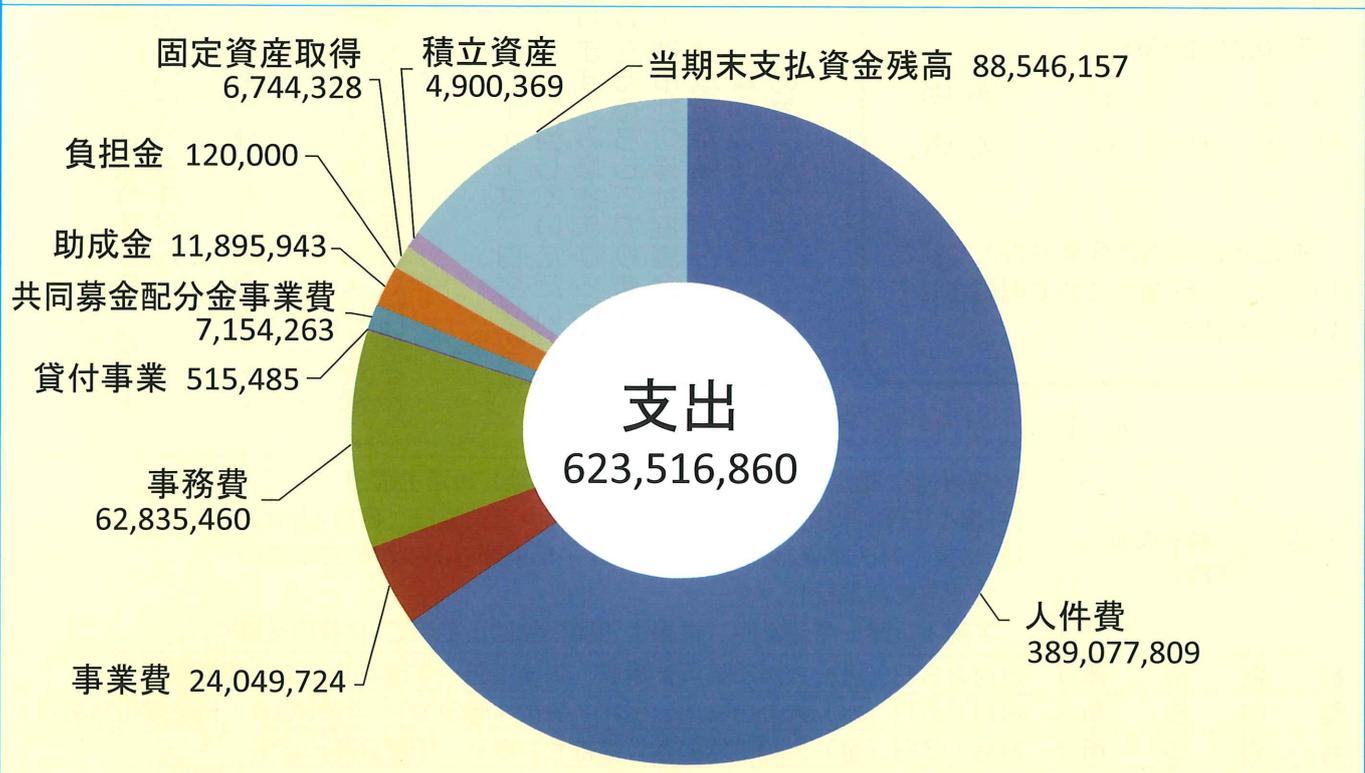
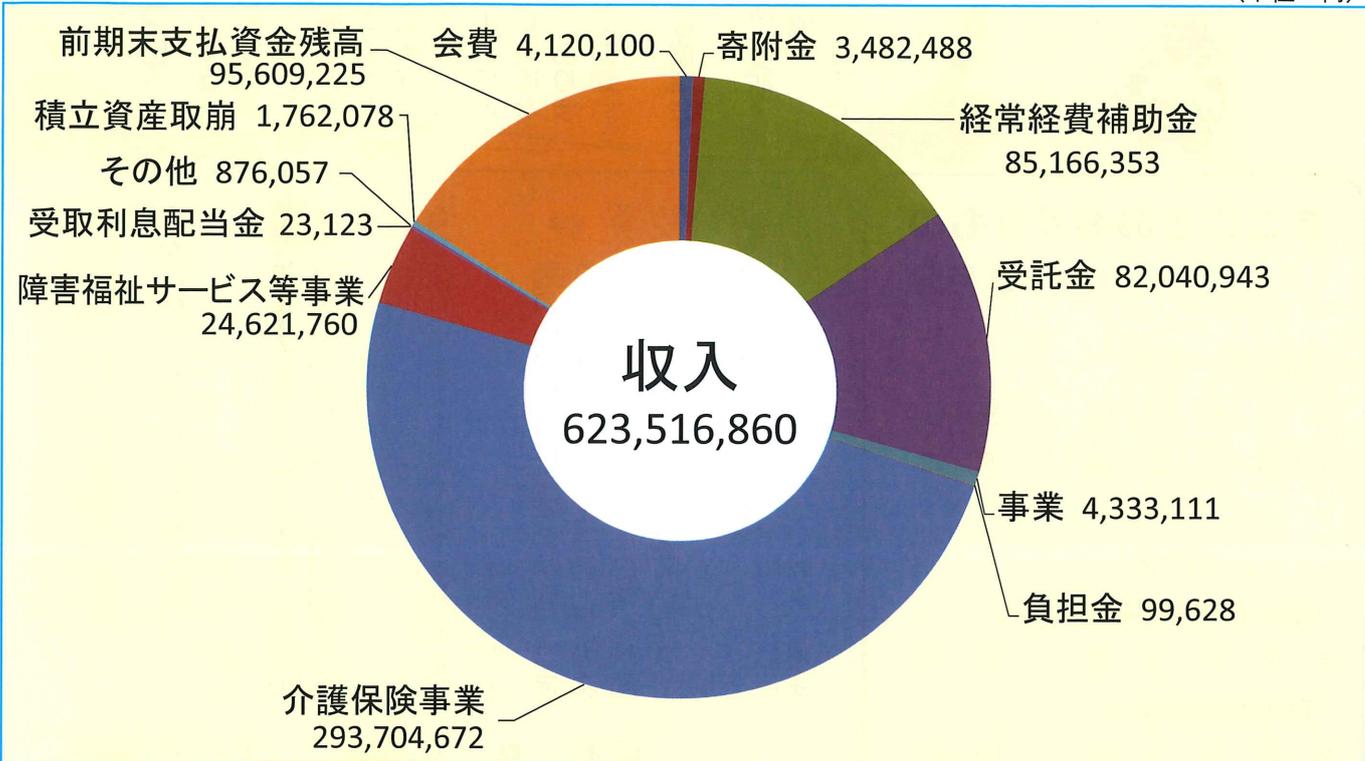
令和元年度大洲市社会福祉協議会 決算の概要

6月12日に理事会、6月29日に評議員会を開催し、決算及び事業内容について承認を得ました。

《社会福祉事業・公益事業》 法人運営・地域福祉・介護事業、指定管理運営事業

- ◇法人運営事業 ◇補助事業 ◇委託事業 ◇共同募金事業 ◇福祉ボランティア基金運営事業
- ◇まごころ銀行事業 ◇被災者見守り・相談支援事業 ◇居宅介護支援事業 ◇訪問介護事業
- ◇通所介護事業 ◇訪問入浴介護事業 ◇総合福祉センター管理運営事業

(単位：円)



※この計算書は、「社会福祉法人会計基準」(平成28年3月31日 厚生労働省令第79号)により会計処理を行っております。



『まごころマスク』の 受け入れについて

市民の方々から、「マスクを寄附したい」という温かい声が数多く寄せられたことを受け、大洲市社会福祉協議会では、大洲市と連携し、善意の『まごころマスク』として、受け入れを行っています。

ご寄付いただいたマスクは、必要とされている高齢者、生活に困りの方などへの配付や災害時などでの有効活用を想定しておりますので、ご協力をよろしくお願ひします。

受入場所：大洲市社会福祉協議会
(本所・支所)
大洲市(市役所・支所・
連絡所・公民館)
受入期間：令和2年8月31日まで

まごころのおくりもの 5月分

金銭の部(一般分)

林 田 稔 徳 様 喜多山
大和田 兼 雄 様 徳 森

(指定分)

《南久米地区社協へ》
木 戸 高 志 様 大 洲
《肱川地区社協へ》
高 倉 真 一 様 田 口
《河辺地区社協へ》
岩 本 政 光 様 菅田町
竹 本 ユリコ 様 河辺町

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

俳句ひろば

産土の杜ひんやりと今朝の夏

佐野 満寛

神鎮まる産土の杜の木木深き神の庭の朝の静けさ、一日の始まりです。

句と詠むは生くるよすがや合歓の花

佐野 幸子

闘病中の作者は趣味の俳句、つまり句を詠むことは生きる上でのよるべなのだと云います。この句、季語の合歓の花が優しさを添えています。

夫逝きて三年の春送るかな

松本 朋子

ご主人が逝かれてからの三年の月日が流れました。ご主人への思いはつきません。

黒雲の重く伸しかく梅雨入りかな

森本 正男

空全体の黒雲、いよいよ梅雨入りと気持ちを新たにします。

このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。みなさまからのお便りをお待ちしております。

大洲市社会福祉協議会
地域福祉係

☎ 23-0313
☎ 23-0295

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】 毎週月・水曜日	【介護相談】 毎週金曜日
	【弁護士法律相談※要電話予約】 毎月第1・3火曜日(8月4日と18日)	【司法書士等法律相談】 毎月第2・4・5火曜日および毎週木曜日
長 浜 支 所	大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く	
肱 川 支 所	8月28日(金) 大洲市長浜体育館	午後1時～午後4時 ※法律相談あり
河 辺 支 所	8月5日(水) 大洲市肱川公民館	午後1時30分～4時30分 ※法律相談あり
	8月7日(金) 大洲市河辺老人福祉センター	午前9時～正午
問い合わせ先	本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510	

※新型コロナウイルス感染状況により、休止となる場合がありますので事前にお問い合わせ下さい。